
身近な問題としてもらうために

～自殺予防街頭キャンペーンに参加しました～

警察庁並びに徳島県警察本部のデータによると、平成24年中の徳島県内の自殺者は、平成20年以降減少を続けていましたが、昨年度の150名に対し14人増加の164人であることが分かりました。自殺者数としては、全国で2番目に少ないですが、人口10万人あたりの自殺者数では、全国14位となっています。

特に、若年層及び高齢者が増加、高齢者は前年の64人から74人に増加、若年層は昨年の15人から22人に増加し、約47%の大幅な増加となりました。

そこで、徳島県では若年層に対する啓発を行い、自殺が身近な問題であることを理解してもらおうと、通勤時間帯の徳島駅前を実施場所に街頭キャンペーンが計画され、高齢者の自殺予防に取り組んでいる本会も、協力することになりました。

実施日となった3月5日、午前7時30分から1時間余り、徳島保健所の職員と徳島市老人クラブ連合会の有志5名、徳島県老人クラブ連合会事務局2名が参加し、各種相談窓口が記されたチラシや蛍光ペン、県老人クラブ連合会が製作したティッシュが入った袋を通勤・通学途中の方々に配布しました。

